

演題「山田方谷の漢詩」

入場無料
事前申し込み不要

昭和51年4月21日指定
新見市指定史跡(方谷園)
令和7年9月22日指定
新見市指定重要文化財(遺蹟碑)

13:00 開場
13:30~13:45 開会行事
13:45~13:55 方谷の漢詩吟詠
14:00~15:30 講演会

講師

岡山大学名誉教授
森 熊男 氏



略歴

昭和19年新見市生まれ
岡山県立新見高等学校卒業
岡山大学法文学部文学科漢文学科卒業
東京大学大学院人文科学研究科修士課程・
博士課程中国哲学専門課程単位取得退学
昭和48年4月 岡山大学教育学部に赴任
(助手・講師・助教授・教授)
平成21年3月 岡山大学退職



関連行事

山田方谷 150 回忌法要

主催 方谷さんを広める新見の会

日時 令和8年6月26日(金)14:00~

会場 新見市大佐小阪部上町 方谷園(小阪部塾跡)

おおさ総合センター駐車場から会場までバスを運行します。

山田方谷は生涯を通じて千首以上の漢詩を遺しています。本講演会はその詩の世界を通じて、備中聖人と称せられた方谷の思いに迫ります。新見市民をはじめ、多くの人が地域に誇りを持ち、次の一歩を踏み出す機会になれば幸いです。

方谷と漢詩

山田方谷 1805年(文化2年)備中松山藩(現在の高梁市)で生まれた。藩主板倉勝静の下で、産業振興などに取り組み、歴史に残る藩政改革を成し遂げた。また、老中となった勝静を補佐して幕政にも参与。維新後は小阪部塾、閑谷学校などで有意の人材を多く育てた。

山田方谷

記念講演会

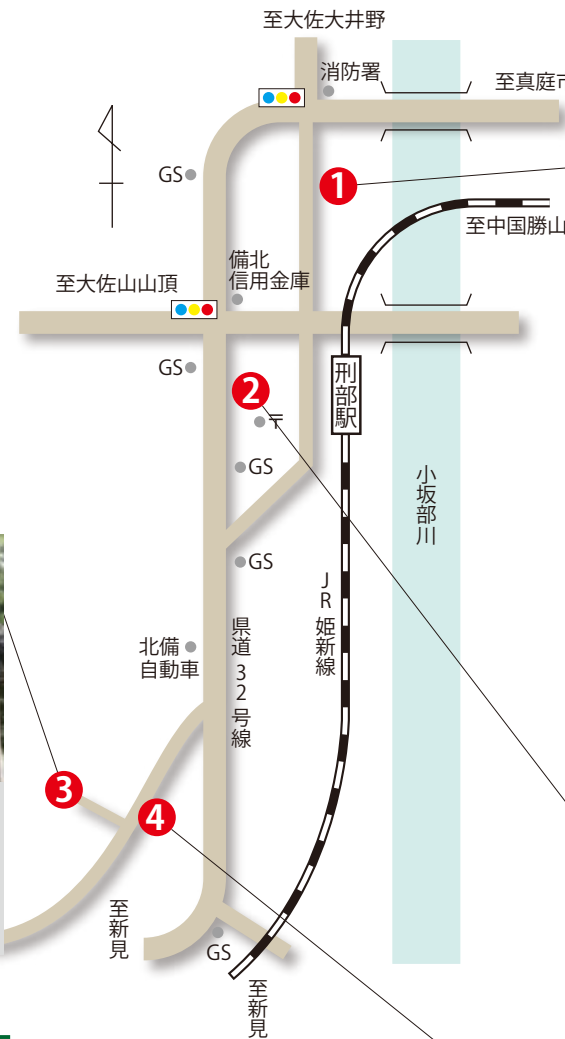
〔日時〕令和8年6月27日(土) 13時開場
〔場所〕おおさ総合センター 多目的ホール

新見市大佐小阪部1469-1

山田方谷没後150年

主催 新見市
主管 方谷さんを広める新見の会
〔問い合わせ先〕
新見市政策推進課 (72-6143)

方谷終焉の地(新見市大佐)の紹介



①方谷園

新見市指定重要文化財、新見市指定史跡



方谷が明治3年10月長瀬(現在の高梁市中井町西方)から小阪部(現在の新見市大佐小阪部)に移り、子弟教育に努めた小阪部塾の跡地(旧旗本水谷氏陣屋跡)で大正12年方谷園として開園。方谷が息をひきとった枕辺にあたる地点に、勝海舟による題字と三島中洲撰の碑銘とを刻んだ高さ7.5mの方尖柱が天をついて立っている。

③方谷庵(金剛寺)



明治5年(1872)11月、外祖父母の墓のあった金剛寺の境内に方谷が建てた祠堂(茶屋風の小庵)。たびたび足を運び、時にはここに泊まってその霊を慰めた。県指定史跡。

②おおさ総合センター 多目的ホール

TEL 0867-98-2304

入場無料

山田方谷没後150年 記念講演会 会場

④大佐山田方谷記念館

入館料300円(18歳未満無料)

TEL 0867-98-4059

関連行事の概要

* 山田方谷没後150年特別展

新見

日時 令和8年6月17日(水)～8月30日(日)
場所 大佐山田方谷記念館
内容 山田方谷・丸川松隠・佐藤一斎の師弟遺墨展

* 山田方谷150年祭記念シンポジウム

高梁

日時 令和8年6月21日(日)13:30～
場所 たいこまるプラザ伊藤記念ホール(高梁市成羽町下原)
内容 「リーダーシップを山田方谷に学ぶ」
基調講演 伊藤謙介氏
パネルディスカッション 野島透氏 他

* 没後150周年記念講演会

岡山

日時 2026年6月28日(日)12:50分開場
場所 岡山プラザホテル5F延養の間
講演会 リーダーシップのあり方
基調講演 I 栗山英樹氏 II 木村正明氏 III 杉山慎策氏
パネルディスカッション 基調講演者3名×野島透氏



方谷の偉業を讃え方谷の生き方にふさわしい「誠実・勤勉・清貧・謙譲・惻怛の心」を後世に永く伝えていくため、平成16年3月開館。方谷の人となり、藩政改革の手法、教育者としての方谷、略年譜等のグラフィックパネルや、遺蹟碑拓本の複製、書などを展示し、ビデオコーナーもある。今まで、北海道から鹿児島県までほぼ全国から熱心な方谷愛好者が訪れている。